

# 調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 10日

瀬戸市議会議長 様

議員名 富田 宗一



政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 元年10月30日から10月31日まで（1泊2日） (10/29も同高知県内で視察有)	
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知	
会場名(会場所在地)	高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばあさんセンター	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	今回のフォーラムでは、高知が生んだ国民的英雄である坂本龍馬の船中八策にならい「議会活性化のための船中八策」をテーマとし、現場の課題とその実現方策を考えます。 併せて、これからの議会像・議員像についても議論してきます	
議長名の依頼	要・ <input type="checkbox"/> 不要	依頼先(名称)
同行者名	山田治義・富田宗一・小沢勝・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・宮菌伸仁・柴田利勝・高島淳・朝井賢次	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和元年11月14日

瀬戸市議会議長 様

議員名 富田 宗一



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 日	令和元年10月29日から10月31日まで（2泊3日）
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばさんセンター
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	今回のフォーラムでは、高知が生んだ国民的英雄である坂本龍馬の船中八策にならい「議会活性化のための船中八策」をテーマとし、現場の課題とその実現方策を考えます。 併せて、これからの議会像・議員像についても議論してきます
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
<p>地方分権改革の進展に伴い、市議会の役割と責任が高まる中、市議会は、継続的な自己改革に取り組み、議会の魅力を高め、住民の信頼を確保する必要があります。</p> <p>また、社会経済の急速な構造変化を背景に、市議会には、多様化する民意の市政への反映と集約が期待されております。</p> <p>そのため、議会への多様な人材の参画や、議会改革の深化を図る必要があります。</p> <p>今回は、高知が生んだ国民的英雄である坂本龍馬の船中八策にならい「議会活性化のための船中八策」をテーマとして、現場の課題とその対応策、併せてこれからの議会像・議員像について、講演・パネルディスカッションなどがあった。</p>	

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

一日目の基調講演は、東京工業大学教授の中島岳志氏であった。

政治のマトリクスとして、配分をめぐる軸・Y軸→セーフティーネット強化（リスクの社会化）VS自己責任（リスクの個人化）

価値をめぐる軸・X軸→リベラルVSパターナルとして縦軸、横軸で説明を受けた。

二日目においては、パネルディスカッション中で、上越市議会議員の滝沢一成氏の発表が印象に残った。

市議を目指しやすい環境整備検討会を設置した、市議会議員立候補者が少なく、この現状への危機感から、議長提案で、議長の諮問組織として当検討会を設置した。

目的は、市民の声を市政に反映させる上で、男女を問わず市民の各年齢層から市議がいるのが望ましいが、残念ながら現状は、子育て世代などの若者や女性の議員はわずかである上、挑戦する動向も伺えない状況にある。

そこで、市議を目指しやすい環境とは何か、その整備に向けて「市議を目指すことを阻害する」現状の要因など把握し、その改革案を策定することとした。

目指せないのだから、阻害要因を捜し、取り除けばいいと思うが、それは議員の発想であり限界であった。

市議を目指してもらうには、段階が必要であり議会の魅力を見せ・魅せていかなければいけない。また、心の問題⇒心的要因、物的問題⇒物的要因（お金・人）環境的要因（社会・地域～家族）

市民との意見交換会において、「なぜ若者・女性は市議会議員を目指せないのか」、「どんな阻害要因をなくしたらあなたは議員に出馬するのか」、「市議会に求めること」などをテーマとした。

議員アンケートも現・前職から行った。

一年後に「議員を目指しやすい環境整備」への5つの大項目と19の小項目で構成する提言を答申、議長に提出した。

その中より、早急に取り組むべき7点を選出した。

①議会傍聴の改革・活性化 ②模擬議会、議会体験学習の実施 ③意見交換会の改革 ④広報PRの充実 ⑤選挙マニュアルの作成 ⑥議員報酬の適正化 ⑦女性フォーラムの開催

最後に、見える議会・魅せる議会は、住民協働力・行政との対峙力・立法力・情報収集発信力の揃った議会である。

議会改革推進こそ、議員を目指す人々を獲得する最大の力

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

瀬戸市においても、議会改革を行ってきた。いま、議会基本条例を検証し再度市民に開かれた議会を望まなければいけないのだが、今回の議長会において、気付かなかった様々な問題に気付いた。議員のなり手不足の「課題」、報酬増（自治体ごとに格差）や選挙指南書、女性立候補の壁、瀬戸市議会として取り組む課題はまだある。

上越市議会の取り組み7課題について瀬戸市議会も同様に行って行きたいと思っています。